

【 無料ダウンロード資料 】

社労士試験の勉強法

本試験まであとわずか！社会人が「1日3時間」をひねり出す直前期のタイムマネジメント

※約4分で読めます

社労士試験の本番が近づくにつれ、「**全然時間が足りない！**」と焦っていませんか？

働きながら合格を目指す社会人にとって、直前期の「時間不足」は最大の壁です。

本レポートでは、私が実践していた「過去問アプリ」と「スキマ時間」を掛け合わせて、無理なく**1日3時間の勉強時間を生み出す**直前期のタイムマネジメント術をご紹介します。

「まとまった時間」を捨てる！1日のスキマ時間シミュレーション

直前期は「休日にまとめて4時間やろう」という考えを捨ててください。

細切れの時間をかき集める「チリツモ作戦」の方が、記憶の定着率は圧倒的に高まります。

時間帯	スキマ時間	内容
朝（起床後）	30分	暗記モノの確認（前日の夜に間違えた問題の復習）
通勤（行き）	30分	過去問アプリ（労働科目のA・Bランクを中心に）
お昼休み	20分	過去問アプリ（昼食後の眠くなる前にサクッと演習）
通勤（帰り）	30分	過去問アプリ（社会保険科目を重点的に）
夜（帰宅後）	70分	テキスト確認と横断整理（アプリで間違えた箇所辞書引き）
合計	180分 (3時間)	「机に向かう時間」は夜の1時間ちょっとだけ！

直前期の最強の武器は『過去問アプリ』

記のスケジュールを実現するために不可欠なのが、**資格の大原 社労士トレ問アプリ**です。

分厚いテキストや問題集をカバンに入れて持ち歩くのはやめましょう。

過去問アプリならスマホを開いて「すぐに」で勉強を開始できます。

直前期のアプリ活用ポイントは以下の2つです。

1 難問（Cランク）は飛ばす

誰も解けない問題に時間を割かず、基本問題（A・Bランク）だけを何度も回転させます。

2 間違えた問題だけを抽出

アプリの機能を使い、自分の弱点だけをピンポイントで復習して効率を極限まで高めます。

直前期 5月～8月の学習スケジュール(目安)

最後に、直前期の月ごとの学習スケジュール目安です。今からでも、やるべきことを絞れば間に合います。

月	学習内容と目標	意識するポイント
5月～6月	模試の受験+アプリでの高速回転	模試の点数に落ち込まない！間違えた基本問題をアプリで潰す。
7月	白書・統計対策+横断整理	独学で深追いせず、予備校の直前対策などを活用して効率化。
8月	超・基本事項の総復習+体調管理	新しい問題には手を出さない。今までやったテキストとアプリの総復習。

直前期は「完璧主義」はやめてください。

すべて覚えようとせず、今日できる「スキマ時間の5分」を大切に積み重ねていきましょう。

その5分が、本試験での「あと1点」に必ず繋がります！

下記の記事で、社会人がスキマ時間を活用して効率よく勉強するための、具体的な過去問アプリの使い方を書いています。

きっと、参考になるのでご覧ください。



参考記事はこちら

クリック→ [【社労士 過去問 アプリ！】こんな便利な勉強ツールは絶対に使おう](#)

しゃろうむ